

東京大学 REDDY 公開研究会

入場無料

4月よりREASEはREDDY - Research on Economy, Disability and Diversity:「多様性の経済学」
として新しい段階に入ります。



「わたしと地域の回復—多様性のまちづくり 二つのLIFETIMEとこれからのコミュニティ」 (社会資本としての住環境研究会 第2回)

日時 2018年4月7日(土)

午後2時～5時(開場午後1時30分)

会場 東京大学本郷キャンパス

学術交流棟1階第2セミナー室

今回の公開研究会は、一般社団法人LIFETIME HOMES ASSOCIATION「社会資本としての住環境研究会」の企画として、まちづくりの側面から障害について考える、私たちにとっては新しい試みです。

イギリスで住宅設計の基準としてつくられた"LIFETIME HOMES"、地域計画の指針としてつくられた"LIFETIME NEIGHBOURHOODS"は、「ライフタイム」、つまりそこに住む人たちひとりひとりの生涯を見通して、高齢者や車いすを使用する障害者も暮らしやすい住環境づくりのために考えられています。

この「ライフタイム」という考え方をひとつの切り口に、REASEのメンバーでもある東京大学先端科学技術研究センター熊谷晋一郎准教授に、個人史としての「ライフタイム」とそこから考えるこれからの地域の、物理的あるいは本質的なあり方の可能性を探っていただきます。

プログラム

14:00-14:05 開会の言葉

14:05-14:35 丹羽太一「LIFETIME NEIGHBOURHOODSという考え方」

14:45-15:45 熊谷晋一郎「わたしと地域、二つのLIFETIMEから回復を考える」

16:00-17:00 全体討論

情報保障:手話通訳、文字通訳

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気ループ、視覚障害者用読み上げ用テキストデータをご利用の方は、お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。点字レジュメ、磁気ループをご希望の場合は3月23日(金)までにお申し込みください。

主催:東京大学REDDY(研究代表者:松井彰彦)
一般社団法人LIFETIME HOMES ASSOCIATION

参加お申し込みは

<http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> より
REASE公開講座ページへ



お問合せ: rease@e.u-tokyo.ac.jp

科研費基盤研究(A)17H00978

「多様性の経済学」

研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦

Research on Economy, Disability
多様性の経済学 and Diversity